



中村 博美 議員

質問
にぎわいのある
道の駅づくりについて

答 弁
行政・民間・市民、皆でつくる道の駅が
公共施設として大きな交流拠点となる

中村議員の
質問動画



議員

常総インター周辺開発は4車線の国道294号線とつながり、谷和原インターより約13キロメートルと、地の利もよく全国からも注目されている開発であり、失敗させるわけにはいかない。人を呼び込み、来訪者を市内へ回遊させる仕組みづくりを問う。

副市長

市内周遊のための案内板の設置、窓口設置、インターネットでの販売サイトを活用した地域商品の取り扱い周知、市の魅力をより発信・案内するコンシェルジュを配置する。また、道の駅単独での集客効果よりも、隣接する民間集客施設・都市公園・観光農園までを集客ゾーンとして相乗効果を図り、より多くの人に訪れてもらう。
アグリサイエンスバレー推進チームマネージャー
様々な企業から次世代のマイクromoビリティ、自動運転などの新しい移動手段の提案を受けていて、施設間の移動が安全で楽しくなる仕組みを検討している。

議員

道の駅に出荷される方等の契約

の時期はいつ頃になるか問う。

アグリサイエンスバレー推進チーム参事
令和4年度から開始する予定であり、出荷を予定する方々には、観光地域づくり事業にも参加してほしいと考えている。

議員

出荷者になるにはどのような手続きが必要なのか問う。

アグリサイエンスバレー推進チーム参事
指定管理予定者のTTCが、指定管理者になった後、公募する。

副市長

観光地域づくり事業において受け入れ側である地域の方々と綿密に準備をしていく。

議員

道の駅全体について市長に問う。

市長

道の駅の成功を何よりも横目で見ていないで参画する。中学生議会でも道の駅でやりたいことの提案があった。行政・民間・市民と皆でつくり上げる道の駅である。

議員

先祖様の大切な土地を提供された皆様のためにも、常総市に活気を取り戻すよう成功を祈る。



大澤 清 議員

質問
道の駅建設による
常総市民の利益は何か？

答 弁
市内全域を活性化させる地域の拠点
施設として活用していきたい

大澤議員の
質問動画



議員

道の駅の建設構想時以来、私は他にない差別化を図った道の駅をつくらせて行くとの認識でしたが、実現性についてお聞きする。

アグリサイエンスバレー推進チームマネージャー

単独で魅力をつくるのではなく、道の駅に隣接した民間集客施設・都市公園・観光農園と一体的に整備することで、行政だけでなく官民連携により皆さんの知恵を出し合いながら一体的な魅力をつくり出して、より多く人が集まる場所となるように推進をしている。

議員

道の駅用地の購入はせず、公共減歩により取得する7千平方メートルで、イベントスペースや農作物直売所、サイクリング用シャワー室、休憩室、サイクルショップなどの関連施設を計画すべきである。道の駅購入予定地は、別の商業施設を誘致するか、戸田建設による民間集客施設の規模拡張がよいと考えるが、市の考えは。

アグリサイエンスバレー推進チームマネージャー

道の駅を地域のための戦略的中

核拠点として、集客効果を最大限

図るために官民連携事業とし、構想の段階から民間側と協力することにより、道の駅・プラス民間集客施設という全国的にも新しい形での集客の拠点を形成する。これにより多くの人が訪れる常総市の新たなシンボリックな拠点となり、市民が誇れる場所になると考える。

議員

道の駅建設による常総市民の利益は何かお聞きする。

副市長

多くの人が集まる拠点ができることで、市内の農産物や物産等を販売して市内に利益をもたらすことはもちろんのこと、道の駅の来訪者に情報発信をし、常総市のよさを知っていただき、市内に回遊させる拠点とする。併せて、そこに生まれる新たな観光などの様々な地域ビジネスを創出していくことにより、市内全域を活性化させる地域の拠点施設として活用していきたい。

【その他の質問】

★アグリサイエンスバレー構想について